高萩市　舗装修繕計画

平成 29 年 5 月

高萩市

目　次

1.　舗装の現状と課題 1
1.1　管理道路の現状 1
(1)　管理延長と舗装延長 1
(2)　対象路線延長と平均交通量 1
1.2　舗装維持修繕予算の現状 3
1.3　舗装の現況 3
(1)　ひび割れ率 4
(2)　わだち掘れ量 5
(3)　縦断凹凸(IRI) 6
2.　舗装の維持管理の基本的な考え方 7
2.1　舗装管理の基本方針 7
2.2　管理道路の分類 7
2.3　管理基準 8
2.4　点検方法・点検頻度 8
2.5　使用目標年数 9
3.　計画期間 10
3.1　計画期間 10
3.2　計画期間内の修繕費用の見通し 10
4.　維持修繕計画の方針 11
4.1　修繕優先順位の設定 11
(1)　設定方針 11
(2)　劣化度の評価 12
(3)　重要度の評価 12
5.　舗装の状況、対策内容、実施時期 14
5.1　診断結果 14
5.2　対策内容と実施時期 15
5.3　位置図 17

1. 舗装の現状と課題

1.1 管理道路の現状

(1) 管理延長と舗装延長

管理延長は 1 級市道で 53.665 km、2 級市道が 49.464 km、その他市道で 392.478 kmとなっており、全体で 495.607 kmであり、舗装が済んでいる割合は全体で 57.63%となっています（表 1-1)。

表 1-1 管理延長と舗装延長（令和 4 年 3 月 1 日現在）

道路区分	管理延長	舗装延長		舗装率
		Ａｓ舗装	Co 舗装	
１級市道	53.665 km	43.999 km	0.350 km	82.64%
２級市道	49.464 km	29.898 km	0.573 km	61.60%
その他市道	392.478 km	204.047 km	7.717 km	53.95%
計	495.607 km	277.944 km	8.640 km	57.63%

(2) 対象路線延長と平均交通量

舗装修繕計画の対象は路面性状調査等により点検を実施した路線とします。

表 1-2 対象路線延長（点検年度別）

点検年度	延長（m）	路線数
平成 25 年度	30,600	11
平成 28 年度	9,697	3
平成 29 年度	8,074	23
平成 30 年度	657	3
令和元年度	520	4
令和 3 年度	20,152	3
合計	69,700	47

表 1-3 対象路線延長(路線名別)　(単位:m)

路線名	下り	上り	合計
市道 104 号線	4,709		4,709
市道 105 号線	1,904		1,904
市道 111 号線	2,895	2,895	5,790
市道 112 号線	4,831	4,831	9,662
市道 203 号線	1,592	1,592	3,184
市道 205 号線	1,809	1,801	3,610
市道 206 号線	1,745	1,745	3,490
市道 217 号線	1,753		1,753
市道 221 号線		315	315
市道 1013 号線	1,925	1,925	3,850
市道 1261 号線	1,780		1,780
市道 1352 号線	168		168
市道 1353 号線	385		385
市道 1354 号線	185		185
市道 1355 号線		245	245
市道 1357 号線	178		178
市道 1358 号線	40		40
市道 1359 号線	34		34
市道 1372 号線	168		168
市道 1373 号線	365		365
市道 1374 号線	364		364
市道 1377 号線	316		316
市道 1378 号線	316		316
市道 1379 号線	237		237
市道 1384 号線	295		295
市道 1388 号線	295		295
市道 1389 号線	158		158
市道 1391 号線	340		340
市道 1403 号線	684	684	1,368
市道 1409 号線	1,685	1,685	3,370
市道 1456 号線	295		295
市道 1498 号線	640		640
市道 1555 号線	1,100	1,100	2,200

市道 1591 号線	130		130
市道 1592 号線	1,645	1,645	3,290
市道 1661 号線	2,440	2,440	4,880
市道 1380 号線	193		193
市道 1381 号線	705		705
市道 1263 号線	440		440
市道 2032 号線	102		102
市道 1316 号線	115		115
市道 1211 線線	130		130
市道 1270 号線	150		150
市道 1206 号線	110		110
市道 1401 号線	140		140
市道 3083 号線	3,653	3,653	7,306
合計	43,144	26,556	69,700

1.2　舗装維持修繕予算の現状

高萩市では点検も含めた舗装改良事業に平成 26 年度から平成 29 年度までの平均で 44,992 千円を予算化しています。

表 1-4 年間の市道改良事業予算

（単位：千円）

年度	H26	H27	H28	H29	平均
市道舗装改良事業	45,846	39,845	11,998	82,000	44,922

※H26～H29 の高萩市予算概要から

1.3　舗装の現況

路面性状測定車等による点検結果について、ひび割れ率、わだち掘れ量、縦断凹凸(IRI)、毎の延長を取りまとめました。損傷レベルの区分については舗装点検要領(平成２８年１０月国土交通省 道路局)を参考にしています。

（1）　ひび割れ率

・最も多いのはひび割れ 10%以上 20%未満の区間であり、全体の 36%を占めています。本区間は線状のひび割れが 1 本程度発生している区間です。

・損傷が激しいとされるひび割れ率 40%以上の区間は全体の 1 割程度であり、本区間は亀甲上のひび割れが確認できる区間となります。

表 1-5　ひび割れ率毎の延長

ひび割れ率	延長(m)	割合(%)	損傷レベル
10%未満	6, 282	9%	小
10%以上 20%未満	18, 449	26%	
20%以上 30%未満	19, 148	27%	中
30%以上 40%未満	8, 779	13%	
40%以上 50%未満	5, 391	8%	大
50%以上 60%未満	2552	4%	
60%以上 70%未満	2608	4%	
70%以上 80%未満	4, 561	7%	
80%以上 90%未満	1730	2%	
90%以上	200	0%	
合計	69, 700		

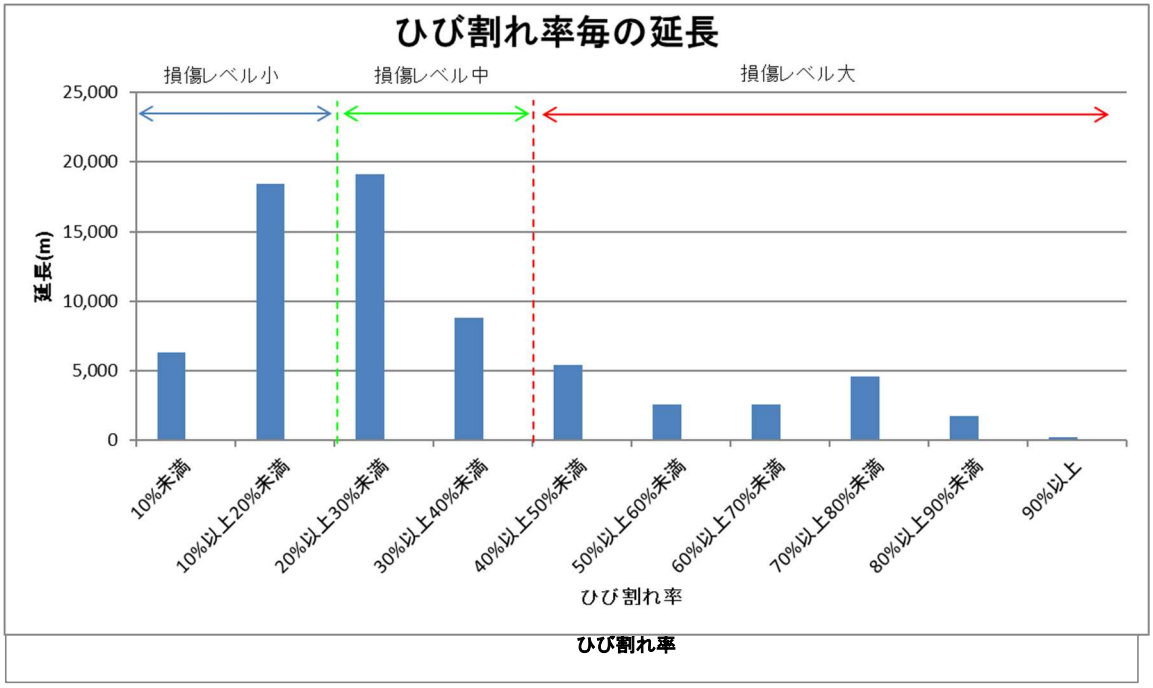


図 1-1　ひび割れ率毎の延長

(2)　わだち掘れ量

・最も多いのはわだち掘れ量 10㎜ 以上 20㎜ 未満の区間であり、全体の 51%を占めています。本区間は雨天時に薄らと水が溜まる状態です。

・損傷が激しいとされるわだち掘れ量 40㎜ 以上の区間はなく、中程度の損傷の 30㎜ 以上の区間が 2%あり、本区間は雨天時に水しぶきが発生するような路面状態です。

表 1-6　わだち掘れ量の延長

わだち掘れ量	延長	割合	損傷レベル
10㎜ 未満	27, 703	40	小
10㎜ 以上 20㎜ 未満	35, 575	51	
20㎜ 以上 30㎜ 未満	5, 140	7	中
30㎜ 以上 40㎜ 未満	1, 282	2	
40㎜ 以上	0	0	大
合計	69, 700	100	

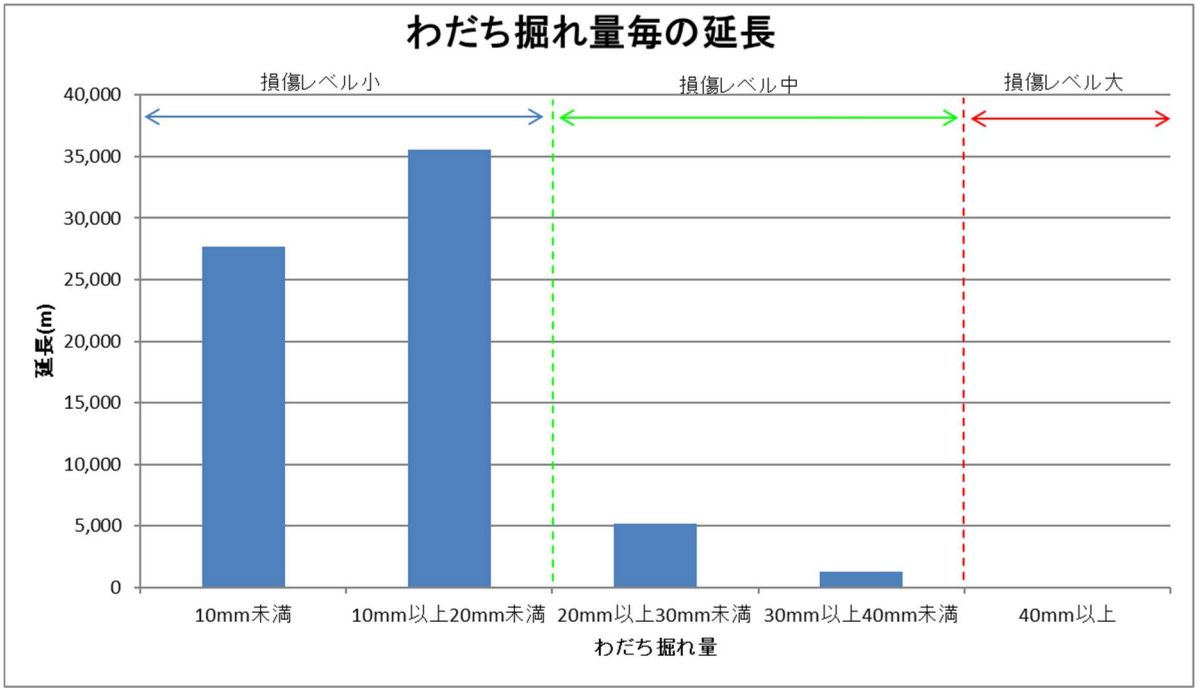


図 1-2　わだち掘れ量毎の延長

(3)　**縦断凹凸**(IRI)

・最も多いのは IRI6mm/m 以上 8mm/m 以下の区間であり、全体の 25%を占めています。本区間は時速 60km で走行すると半数の人が乗り心地悪いと感じる路面状態です。

・損傷が激しいとされる IRI9mm/m 以上の区間は約 3 割程度であり多くの人が振動を強く感じる路面状態です。

表 1-7　縦断凹凸(IRI)の延長

縦断凹凸(IRI)	延長	割合	損傷レベル
3mm 以下	15,204	22	小
4mm/m 以上 5mm/m 以下	18,252	26	中
6mm/m 以上 8mm/m 以下	18,308	26	
9mm/m 以上 10mm/m 以下	7,554	11	大
11mm/m 以上	10,382	15	
合計	69,700		

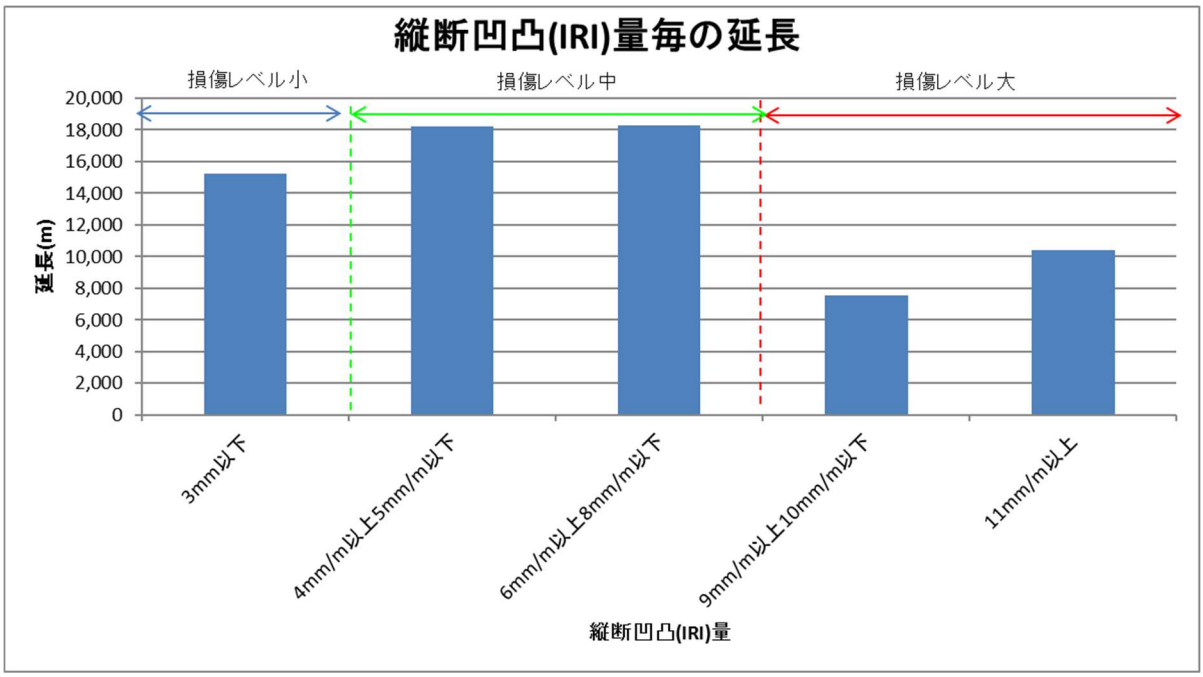


図 1-3　縦断凹凸(IRI)毎の延長

2. 舗装の維持管理の基本的な考え方

2.1 舗装管理の基本方針

舗装維持修繕計画の策定にあたっては，路面性状調査等による点検の診断結果と路線・区間の重要度により、効率的な修繕とコストの平準化を目指します。

2.2 管理道路の分類

管理道路の分類は舗装点検要領(平成２８年１０月国土交通省 道路局))の分類イメージでは市町村道は分類Ｃと Ｄ該当するため、分類Ｃと Ｄを区分しました。

①分類 Ｃ ：損傷の進行が緩やかな道路
市道 1 級、2 級道路の中で交通量が多い道路、その他道路の中で職員の巡視や住民の苦情から劣化が確認されている道路を分類Ｃとしました。

②分類 Ｄ ：損傷の進行が極めて遅い道路
分類Ｃ以外の道路を分類Ｄとしました。

表 2-1 管理道路の分類

分類	対象路線	選定理由
分類Ｂの道路	－	
分類Ｃの道路	市道 104 号線, 市道 105 号線, 市道 111 号線, 市道 112 号線, 市道 203 号線, 市道 205 号線, 市道 206 号線, 市道 217 号線, 市道 221 号線, 市道 1013 号線, 市道 1206 号線、市道 1211 号線、市道 1261 号線, 市道 1263 号線、市道 1270 号線、市道 1316 号線市道 1352 号線, 市道 1353 号線, 市道 1354 号線, 市道 1355 号線, 市道 1357 号線, 市道 1358 号線, 市道 1359 号線, 市道 1372 号線, 市道 1373 号線, 市道 1374 号線, 市道 1377 号線, 市道 1378 号線, 市道 1379 号線, 市道 1384 号線, 市道 1388 号線, 市道 1389 号線, 市道 1391 号線, 市道 1401 号線、市道 1403 号線, 市道 1409 号線, 市道 1456 号線, 市道 1498 号線, 市道 1555 号線, 市道 1591 号線, 市道 1592 号線, 市道 1661 号線, 市道 1380 号線, 市道 1381 号線, 市道 2032 号線、市道 3083 号線	職員パトロール、住民からの通報から現状で高萩市の市道で損傷が確認されている路線。 過年度に路面性状調査を行っており、今後定期的に点検を行い損傷状況を把握する必要のある路線。
分類Ｄの道路	上記以外の路線	

2.3　管理基準

管理基準はひび割れ率、わだち掘れ量、縦断凹凸(IRI)の 3 つの要素に対して設定します。3 つの内、最も損傷している要素の診断区分をその区間の診断区分とします。

表 2-2 管理基準

診断区分	ひび割れ率	わだち掘れ量	縦断凹凸(IRI)	工法
Ⅰ　健全	20%未満	20mm 未満	3mm/m 以下	
Ⅱ　表層機能保持段階	20%以上 40%未満	20mm 以上 40mm 未満	4mm/m 以上 8mm/m 以下	オーバーレイ工法
Ⅲ　修繕段階	40%以上	40mm 以上	9mm/m 以上	表層打換え工法

路線名	路線番号	自	至	ひび割れ	わだち掘れ	IRI	ひび割れ診断区分	わだち掘れ診断区分	IRI診断区分	区間診断区分
市道111号線	111	2600	2620	20	15	9.0	Ⅱ	Ⅰ	Ⅲ	Ⅲ
市道111号線	111	2620	2640	20	13	3.0	Ⅱ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅱ
市道111号線	111	2640	2660	20	10	4.0	Ⅱ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅱ
市道111号線	111	2660	2680	18	13	4.0	Ⅰ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅱ
市道111号線	111	2680	2700	23	10	4.0	Ⅱ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅱ
市道111号線	111	2700	2720	25	5	4.0	Ⅱ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅱ
市道111号線	111	2720	2740	23	15	5.0	Ⅱ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅱ
市道111号線	111	2740	2760	23	5	4.0	Ⅱ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅱ
市道111号線	111	2760	2780	25	8	5.0	Ⅱ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅱ
市道111号線	111	2780	2800	23	13	12.0	Ⅱ	Ⅰ	Ⅲ	Ⅲ
市道111号線	111	2800	2820	20	10	9.0	Ⅱ	Ⅰ	Ⅲ	Ⅲ
市道111号線	111	2820	2840	15	5	4.0	Ⅰ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅱ
市道111号線	111	2840	2860	20	5	5.0	Ⅱ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅱ
市道111号線	111	2860	2880	18	5	2.0	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ
市道111号線	111	2880	2895	20	5	2.0	Ⅱ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅱ

最も悪い診断区分を区間の診断区分とする

2.4　点検方法・点検頻度

点検方法・点検頻度は表 2-3 の通りとします。

表 2-3 点検方法

分類	点検方法	点検頻度
分類 C の道路	目視又は機器を用いた手法	5 年に 1 回程度
分類 D の道路	日常巡視による路面状況の把握	

2.5　使用目標年数

使用目標年数は、舗装の現在の劣化状況と高萩市公共施設マネジメント白書の記載に合わせて 15 年間としました。

表 2-4 使用目標年数

分類	使用目標年数
分類 C の道路	15 年
分類 D の道路	15 年

3. 計画期間

3.1 計画期間

本計画書における計画期間は、10 年間とします。

3.2 計画期間内の修繕費用の見通し

点検結果を基に，計画対象路線の 1 回の修繕サイクルを使用目標年数である 15 年間として、2 サイクル分(30 年間)の修繕費用をシミュレーションしました。

計画的修繕を行う場合、従来型修繕と比較し 30 年間での累計修繕費用が約 29%縮減可能だと試算されました。

パターン	内容
従来型修繕 (事後保全型)	全区間を表層打換え工法で 2 回修繕
計画的修繕 (予防保全型)	(1)1 回目の修繕工法が表層打換え工法の区間 1 回目：表層打換え工法で修繕 2 回目：オーバーレイ工法で修繕
	(2) 1 回目の修繕工法がオーバーレイ工法の区間 1 回目：オーバーレイ工法で修繕 2 回目：表層打換え工法で修繕

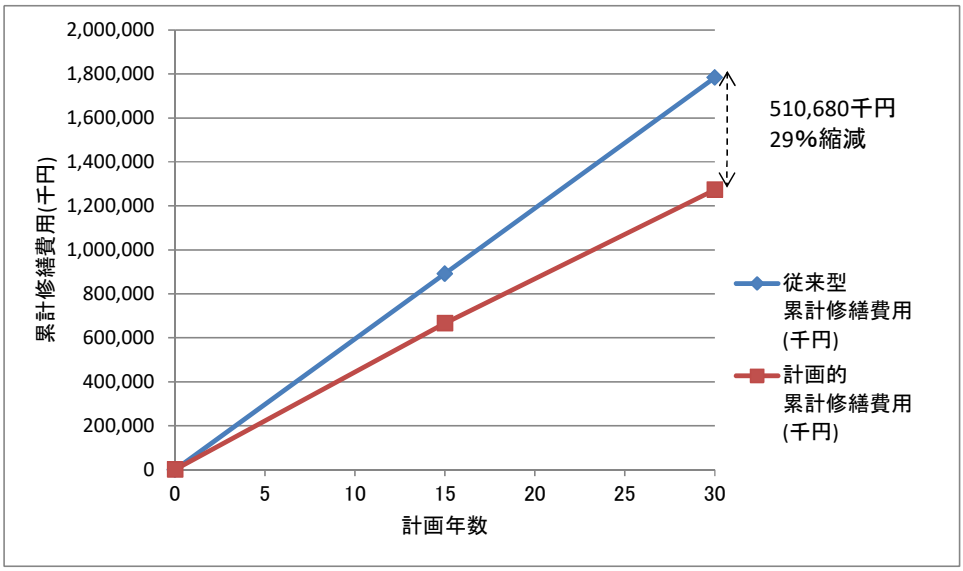


図 3-1 修繕費用の見通し

4. 維持修繕計画の方針

舗装損傷状況、路線の重要性、交通量等を考慮し補修の優先順位を決定しました。

4.1 修繕優先順位の設定

(1) 設定方針

損傷区間の舗装補修工事を効率的かつ効果的に行うために、舗装の劣化が重度かつ、道路として重要度が高い路線・区間を最優先で補修することを舗装優先順位の設定方針とします。

劣化度と路線・区間の重要度による評価を定量的に行うために、各評価項目に評価点を設定し、加点方式で優先順位を設定します。

最優先するのは劣化度と重要度が高い区間とします。基本的に劣化度が高い区間の優先順位を高く設定しますが、劣化度が低度であっても重要度が極端に高い場所は優先順位を高く設定します。そのため劣化度は最大30点、重要度は最大15点としました。劣化度は診断区分を指標とし、重要度は路線特性や沿道施設を指標とします。

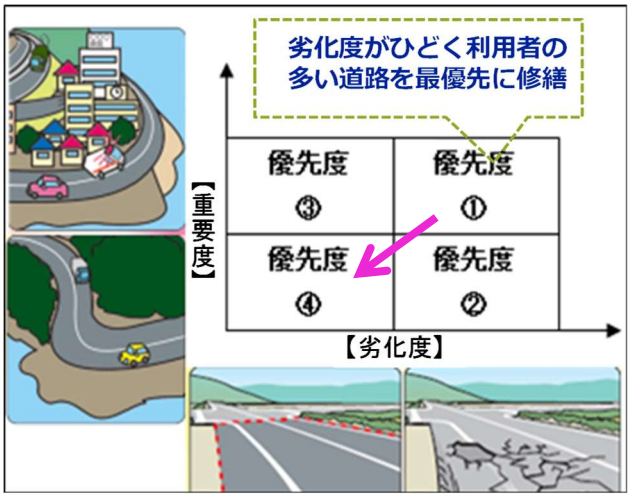


図 4-1　優先順位の設定イメージ

(2)　劣化度の評価

劣化点の評価点は損傷区分により三段階としました。

表 4-1　劣化度評価点の点数

診断区分		評価点
Ⅰ	健全	0
Ⅱ	表層機能保持段階	20
Ⅲ	修繕段階	30
最大		30

(3)　重要度の評価

舗装の劣化は道路利用者(通行車両・歩行者)のみならず、沿道施設や沿道住民に対しても影響を及ぼし、日常の市民生活に大きな影響を及ぼすものと考えられます。舗装劣化の影響を受ける事象をアウトカムと捉え、その事象について評価できる指標を設定する。舗装の劣化のアウトカムから、路線・区間の重要度を判定する評価指標は、「安全」・「快適」・「環境」・「住民サービス」の4つの視点から設定しました。表4-2にその一覧を示します。

表 4-2　アウトカムによる評価指標の分類

視点	アウトカム	評価指標
安全	通行車両や歩行者の安全性の確保 ➢　自動車や歩行者の通行量が多く、大きな被害が想定される路線	1級2級路線 DID地区 工業地域
快適	円滑な自動車交通や乗り心地の維持 ➢　交通量の多い路線の円滑な自動車交通を確保 ➢　公共交通（バス）のサービスレベルを維持	接続道路 バス路線
環境	沿道の静穏な環境の確保 ➢　静穏な環境が求められる沿道施設周辺 ➢　沿道住民の生活環境の維持	公共施設 教育施設 医療施設
住民サービス	苦情・要望に答えることで住民サービスの向上 ➢　住民からの苦情・要望があった場所	苦情・要望

表 4-3 重要度評価指標

大項目	中項目	小項目	区分	評価点
路線の重要性	路線特性	バス路線	該当する区間	2
		1 級 2 級路線	該当する路線	1
		国道・県道への接続道路	2 つの国道・県道へ接続する路線	3
			1 つの国道・県道へ接続する路線	1
	機能性・安全性	DID	該当する区間	1
		駅周辺	500m 以内に近接する	1
		医療施設	500m 以内に近接する	1
		教育施設	500m 以内に近接する	1
		公共施設	500m 以内に近接する	1
		工業用地	該当する区間	1
住民サービス		苦情・要望	住民からの苦情・要望があり職員巡視でも劣化が確認された路線	3
			住民からの苦情・要望がある路線	1
最大				15

重要度			
15点 高	15 劣化度:低 重要度:高	35 劣化度:中 重要度:高	45 劣化度:高 重要度:高
10点 中	10 劣化度:低 重要度:中	30 劣化度:中 重要度:中	40 劣化度:高 重要度:中
5点 低	5 劣化度:低 重要度:低	25 劣化度:中 重要度:低	35 劣化度:高 重要度:低
0点 無	0 劣化度:低 重要度:無	20 劣化度:中 重要度:無	30 劣化度:高 重要度:無
	0点 Ⅰ	20点 Ⅱ	30点 Ⅲ
	劣化度		

図 4-2　加点方式による評価

5. 舗装の状況、対策内容、実施時期

5.1 診断結果

診断結果を表 5-1 に示します。

分類	点検調査路線	点検年度	区分Ⅰ	区分Ⅱ	区分Ⅲ	点検年度	区分Ⅰ	区分Ⅱ	区分Ⅲ
C	市道 104 号線下り	H28	3,702	478	539				
C	市道 105 号線下り	H29	0	344	1,560	R2	1,092	344	468
C	市道 111 号線下り	H25	655	1,560	680				
C	市道 111 号線上り	H25	700	1,575	620				
C	市道 205 号線下り	H28	467	979	363	R2	830	979	0
C	市道 205 号線上り	H28	459	979	363	R2	822	979	0
C	市道 206 号線下り	H25	120	905	720	R3	495	905	345
C	市道 206 号線上り	H25	220	805	720	R3	595	805	345
C	市道 217 号線下り	H29	55	1,038	660				
C	市道 221 号線上り	H29	0	295	20	R3	0	80	240
C	市道 1013 号線下り	H25	900	40	985	R2	1,634	40	251
C	市道 1013 号線上り	H25	940	325	660	R2	1,674	251	0
C	市道 1261 号線下り	H25	20	720	1,040	R2	320	780	680
C	市道 1352 号線下り	H29	0	148	20	R2	0	148	20
C	市道 1353 号線下り	H29	0	385	0	R2	0	385	0
C	市道 1354 号線下り	H29	0	185	0	R2	0	185	0
C	市道 1355 号線上り	H29	0	165	80	R2	0	165	80
C	市道 1357 号線下り	H29	0	178	0	R2	0	178	0
C	市道 1358 号線下り	H29	0	0	40	R2	40	0	0
C	市道 1359 号線下り	H29	0	34	0	R3	34	0	0
C	市道 1372 号線下り	H29	0	148	20	R3	0	148	20
C	市道 1373 号線下り	H29	0	250	115	R3	0	160	205
C	市道 1374 号線下り	H29	0	304	60	R3	0	304	60
C	市道 1377 号線下り	H29	0	316	0	R3	0	316	0
C	市道 1378 号線下り	H29	0	308	8	R3	0	308	8
C	市道 1379 号線下り	H29	0	237	0	R3	0	237	0
C	市道 1384 号線下り	H29	0	275	20	R3	0	275	20
C	市道 1388 号線下り	H29	0	215	80	R3	0	215	80
C	市道 1389 号線下り	H29	0	138	20	R3	0	138	20
C	市道 1391 号線下り	H29	0	320	20	R3	0	320	20

C	市道 1403 号線下り	H28	79	368	237	R2	316	368	0
C	市道 1403 号線上り	H28	139	188	357	R2	496	188	0
C	市道 1409 号線下り	H25	400	685	600	R3	400	685	600
C	市道 1409 号線上り	H25	380	885	420	R3	380	885	420
C	市道 1456 号線下り	H25	0	140	155	R3	0	140	155
C	市道 1498 号線下り	H25	40	380	220	R3	40	380	220
C	市道 1555 号線下り	H25	60	740	300	R3	60	740	300
C	市道 1555 号線上り	H25	80	620	400	R3	80	620	400
C	市道 1591 号線下り	H29	0	50	80	R3	0	50	80
C	市道 1592 号線下り	H25	60	925	660	R3	60	580	980
C	市道 1592 号線上り	H25	200	885	560	R3	60	440	1,160
C	市道 1661 号線下り	H25	40	1,440	960	R3	240	1,440	760
C	市道 1661 号線上り	H25	40	1,020	1,380	R3	240	1,020	1,180
C	市道 1380 号線下り	H29	0	0	193				
C	市道 1381 号線下り	H29	0	0	705				
C	市道 2032 号線下り	H30	0	0	102				
C	市道 1206 号線下り	H30	0	0	115				
C	市道 1263 号線下り	H30	0	0	440				
C	市道 1316 号線下り	R1	0	0	110				
C	市道 1270 号線下り	R1	0	0	150				
C	市道 1211 号線下り	R1	0	0	130				
C	市道 1401 号線下り	R1	0	0	140				
C	市道 112 号線下り	R3				R3	0	1,020	3,811
C	市道 112 号線上り	R3				R3	0	360	4,471
C	市道 203 号線下り	R3	20	560	1,020	R3	20	560	1,020
C	市道 203 号線上り	R3	40	810	720	R3	40	810	720
C	市道 3083 号線下り	R3				R3	140	1,900	1,613
C	市道 3083 号線上り	R3				R3	120	2,080	1,453

5.2 対策内容と実施時期

表 5-2 に措置必要箇所一覧を示します。市道舗装改良事業の継続区間と修繕対象路線の設定から、措置必要箇所と事業実施時期を設定しました。措置対象区間は事業路線以降の区間は優先度評価点路線平均が高い路線から修繕することとしましたが、山間部と市街地で均衡を取り修繕が行えるように措置対象区間を設定しました。

また 5 年毎に点検をした結果から、措置必要箇所の見直しを行います。

※修繕を行う前に再度現地踏査を行う。

表 5-2 措置必要箇所一覧

No.	分類	路線名	点検年度	診断結果	点検年度	診断結果	評価点	措置内容
①	C	市道 105 号線	H28	Ⅲ	R2	Ⅰ		H30,R1,2 修繕
②	C	市道 205 号線	H28	Ⅲ	R2	Ⅰ		H29,30 修繕
③	C	市道 1013 号線	H28	Ⅲ	R2	Ⅰ		R1 修繕
④	C	市道 1206 号線			R2	Ⅰ		R1 修繕
⑤	C	市道 1211 号線			R1	Ⅲ		R2 修繕
⑥	C	市道 1263 号線	H25	Ⅲ	R3	Ⅰ		R1 修繕
⑦	C	市道 1270 号線			R1	Ⅲ		R2 修繕
⑧	C	市道 1316 号線			R1	Ⅲ		R2 修繕
⑨	C	市道 1358 号線	H29	Ⅲ	R3	Ⅰ		H30 修繕
⑩	C	市道 1359 号線			R2	Ⅰ		H30 修繕
⑪	C	市道 1380 号線	H30	Ⅲ	R1	Ⅰ		H29 修繕
⑫	C	市道 1381 号線	H30	Ⅲ	H30	Ⅰ		H29 修繕
⑬	C	市道 1401 号線			R1	Ⅲ		R2 修繕
⑭	C	市道 1403 号線			R2	Ⅰ		H29,30 修繕
⑮	C	市道 2032 号線	H25	Ⅲ	R3	Ⅰ		R1 修繕
⑯	C	市道 206 号線	H25	Ⅲ	R3	Ⅲ		R2.3.4 修繕
⑰	C	市道 1592 号線	H25	Ⅲ	R3	Ⅲ	事業路線	表層打換え
⑱	C	市道 1661 号線	H25	Ⅲ	R3	Ⅲ	事業路線	表層打換え
⑲	C	市道 1373 号線	H29	Ⅲ	R3	Ⅲ	事業路線	表層打換え
⑳	C	市道 112 号線			R3	Ⅲ	32	表層打換え
㉑	C	市道 221 号線	H29	Ⅲ	R3	Ⅲ	31	表層打換え
㉒	C	市道 1456 号線	H25	Ⅲ	R3	Ⅲ	31	表層打換え
㉓	C	市道 1555 号線	H29	Ⅱ	R2	Ⅲ	31	表層打換え
㉔	C	市道 1355 号線	H29	Ⅲ	R2	Ⅲ	31	表層打換え
㉕	C	市道 104 号線	H28	Ⅲ	H28	Ⅲ	30	表層打換え
㉖	C	市道 1409 号線	H25	Ⅲ	R3	Ⅲ	30	表層打換え
㉗	C	市道 203 号線			R3	Ⅲ	30	表層打換え
㉘	C	市道 3083 号線			R3	Ⅲ	30	表層打換え

表 5-3 計画事業実施期間と概算事業費

No.	路線名	措置内容	事業実施期間（年度）															全体事業費	H29事業費	H30事業費	R1事業費	R2事業費	R3事業費	R4事業費	R5事業費	R6事業費	R7事業費	R8事業費	R9事業費	R10事業費	R11事業費	R12事業費	R13事業費
			H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	(百万円)	(百万円)	(百万円)	(百万円)	(百万円)	(百万円)	(百万円)	(百万円)	(百万円)	(百万円)	(百万円)	(百万円)	(百万円)	(百万円)	(百万円)	(百万円)
①	市道105号線	R1,2修繕																0.0			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
②	市道205号線	H29,30修繕																22.4	13.4	9.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
③	市道1013号線	H29,30修繕																0.0	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
④	市道1206号線	R1修繕																6.2	-	-	6.2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
⑤	市道1211号線	R2修繕																5.0	-	-	-	5.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
⑥	市道1263号線	R1修繕																11.3	-	-	11.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
⑦	市道1270号線	R2修繕																5.7	-	-	-	5.7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
⑧	市道1316号線	R2修繕																8.3	-	-	-	8.3		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
⑨	市道1358号線	H30修繕																0.8	-	-	0.8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
⑩	市道1359号線	H30修繕																0.5	-	-	0.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
⑪	市道1380号線	H29修繕																6.5	-	6.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
⑫	市道1381号線	H29修繕																8.9	-	8.9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
⑬	市道1401号線	R2修繕																9.4	-	-	-	9.4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
⑭	市道1403号線	H29,30修繕																0.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
⑮	市道2032号線	R1修繕																3.2	-	-	3.2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
⑯	市道206号線	表層打換え																45.2	-	-	-	11.2	12.0	22.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
⑰	市道1592号線	表層打換え																52.0	-	-	-	-	9.0	13.0	15.0	15.0	-	-	-	-	-	-	-
⑱	市道1661号線	表層打換え																101.2	-	-	-	7.2	12.0	-	27.0	25.0	30.0	-	-	-	-	-	-
⑲	市道1373号線	表層打換え																30.0	-	-	-	-	-	-	-	10.0	20.0	-	-	-	-	-	-
⑳	市道112号線	表層打換え																50.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	25.0	-	25.0	-
㉑	市道221号線	表層打換え																30.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	20.0	10.0	-	-	-	-
㉒	市道1355号線	表層打換え																25.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	25.0
㉓	市道104号線	表層打換え																30.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10.0	20.0	-	-	-	-
㉔	市道1409号線	表層打換え																40.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	20.0	20.0	-	-	-	-
㉕	市道203号線	表層打換え																25.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	25.0	-	-
㉖	市道3083号線	表層打換え																100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	25.0	25.0	25.0	25.0
合計																						46.8	33.0	35.0	42.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0

5.3　位置図

図 5-1 に位置図を示します。

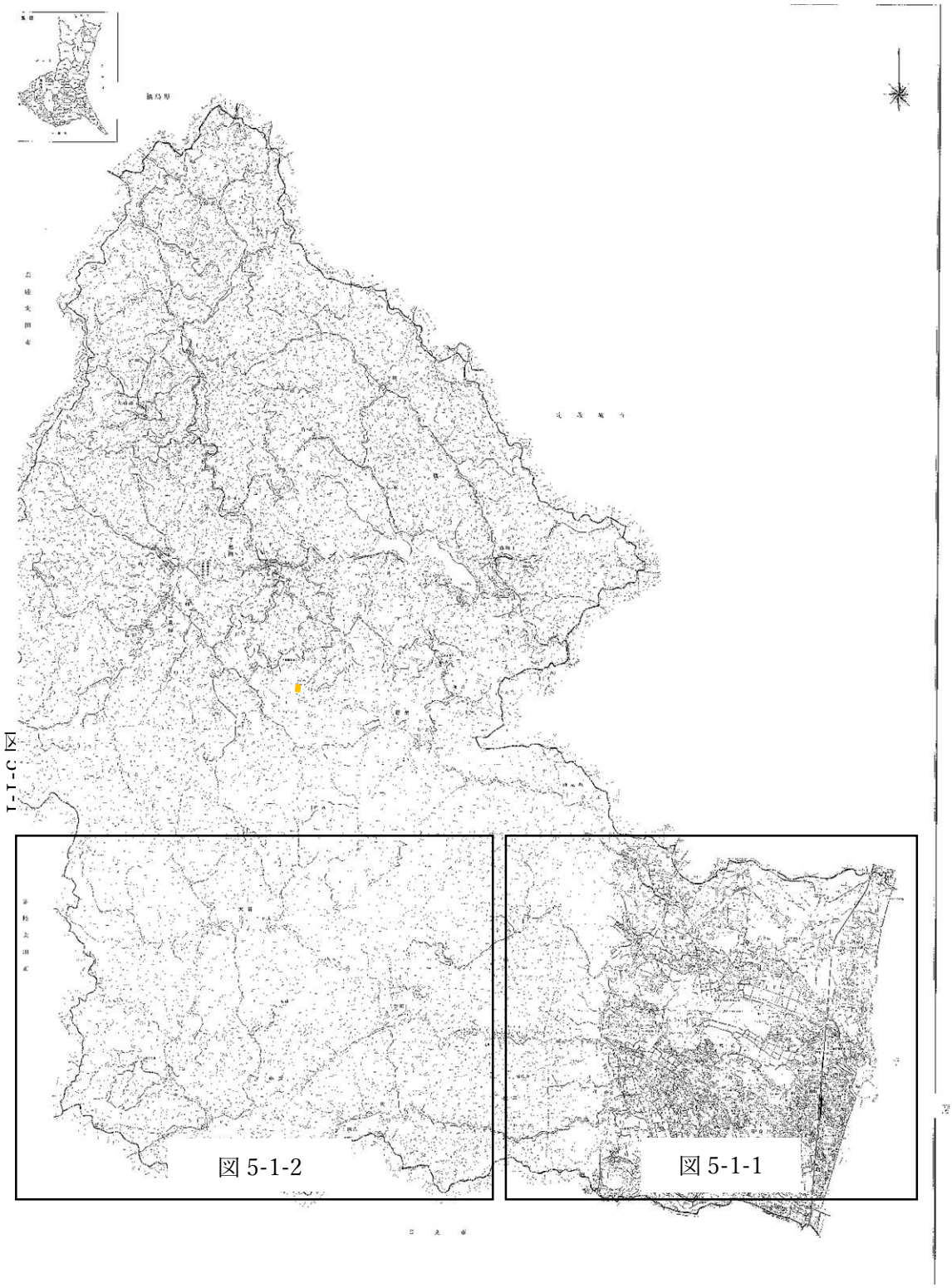


図 5-1-1

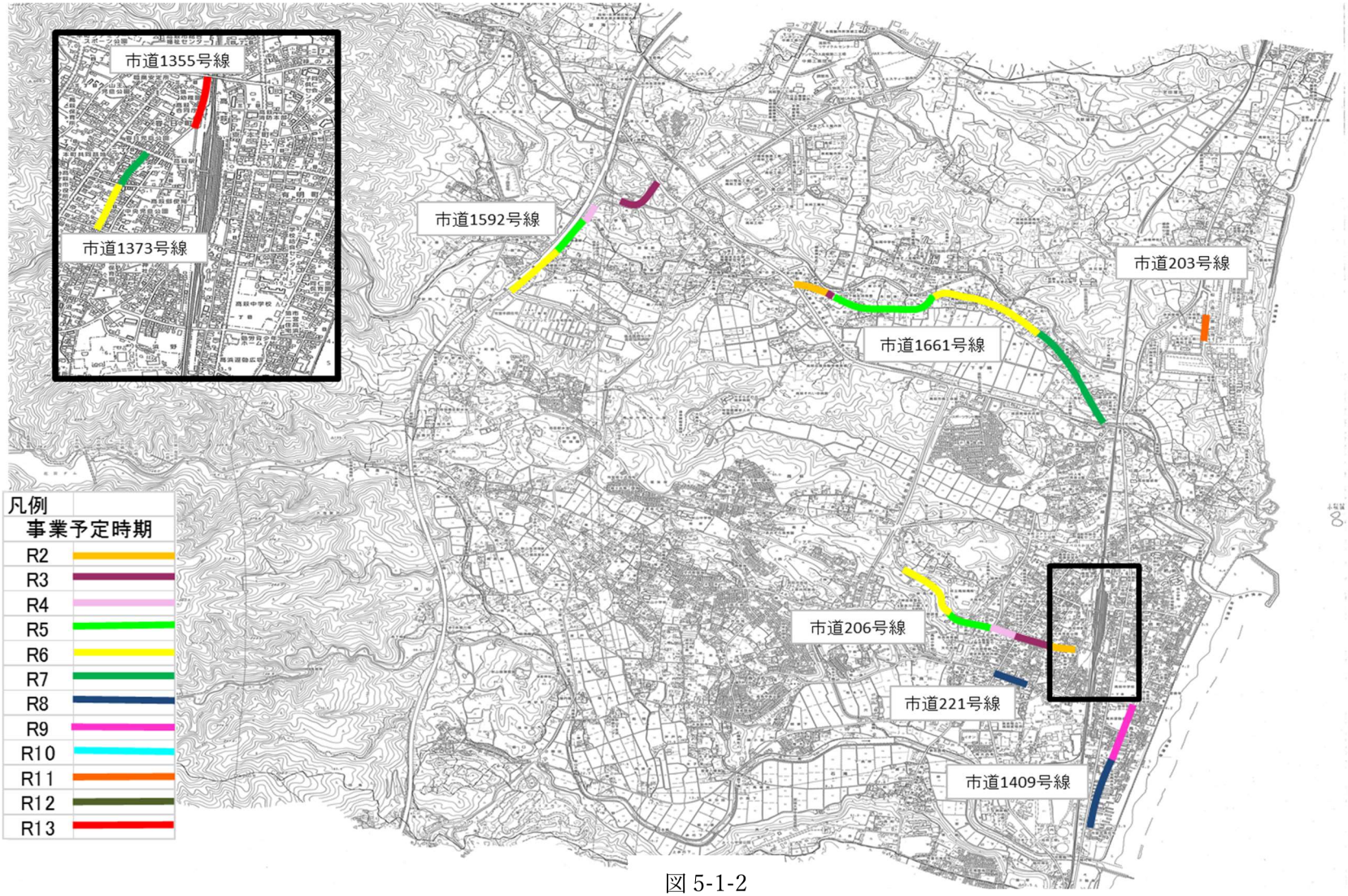
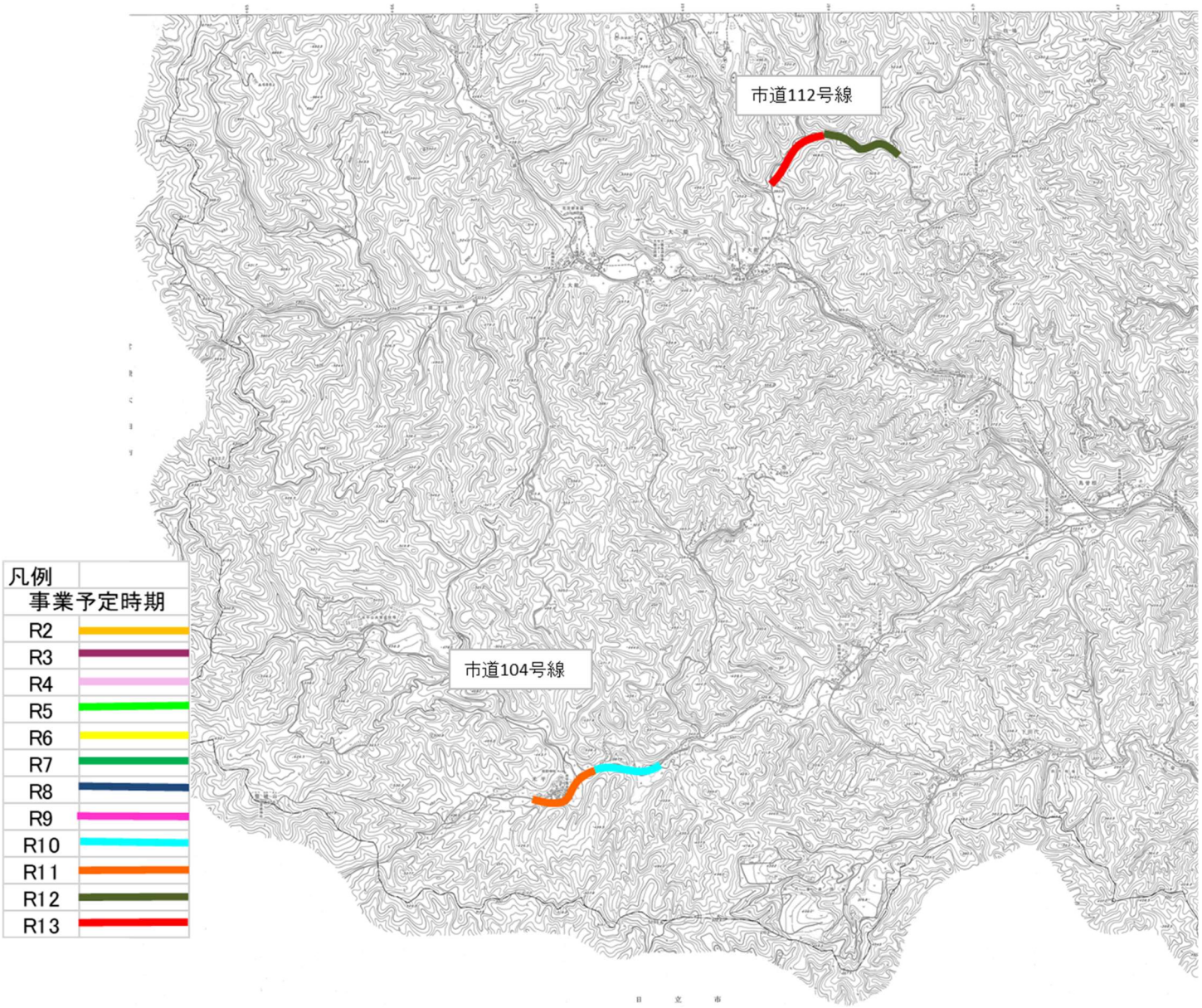

市道1355号線
市道1373号線
市道1592号線
市道203号線
市道1661号線
市道206号線
市道221号線
市道1409号線
凡例
事業予定時期
R2
R3
R4
R5
R6
R7
R8
R9
R10
R11
R12
R13

図 5-1-2


市道112号線
市道104号線
凡例
事業予定時期
R2
R3
R4
R5
R6
R7
R8
R9
R10
R11
R12
R13

高萩市　舗装維持修繕計画
個別施設計画（舗装）

平成29年　5月　策定
平成29年11月　改訂
平成30年　3月　改訂
令和　2年　3月　改訂
令和　4年　3月　改訂
令和　5年　8月　改訂
茨城県　高萩市
産業建設部都市建設課